

よしだ 議会だより



第86号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成29年8月発行
責任者 議長 藤田和寿

29年第3回臨時会	2
第14回議会報告会	4
29年度議会目標	7
29年第2回定例会	8
一般質問	10
委員会紹介	14
ボランティア団体の紹介	15
まちの話題	16

5月15日、1日間の会期において臨時会を開催した。

専決処分事項の承認を求めることについて4件、町道の路線廃止・認定各1件が上程され審議・可決した。

また新たに、議長・副議長が選挙で選出された。

常任委員会および議会運営委員会の委員を選出し、委員長・副委員長を決定した。



議長 藤田和寿

最良の意思決定

5月15日の臨時会で行われた選挙により議長に就任いたしました。議長の重責を担うにあたり、その職務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

議会の最大の使命は、二元代表制の一翼を担う議事機関として、常に町民福祉の向上と町の発展を第一とした最良の意思決定を行うこととあります。その議会の果たすべき役割を十分に認識した活動ができるように、議長として公平・公正かつ円滑な議会運営に努めて参ります。

平成26年3月に、町民に開かれた議会の実現に向け「吉田町議会基本条例」を全会一致で可決し、町民の皆様へ議会及び議員の活動原則をお約束いたしました。今後においても、活力ある議会として議会報告会や出前会議などを開催し、町民の皆様へ議会情報の発信を行い、その実現に向け議会改革の推進を行って参ります。

また、社会経済情勢が刻々と変化している中、それぞれの地域が持つ特徴を活かし自律的で持続可能な社会の実現が求められています。町においても、「津波防災まちづくり」による新たな安全の創出、「シーガーデンシティ構想」による賑わいの実現など、様々な施策を通じ町の姿が大きく変わろうとしています。

議決の重みと議決に至るプロセスを大切にしたい。議事を行い、町民の皆様への信頼と期待に応えられる議会を目指して、議会運営に万全を期して参る所存でございます。

今後とも議会に対し一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶と致します。

新議長・副議長あいさつ



副議長 増田剛士

町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、平成29年5月15日の臨時会で、副議長に就任させていただきました。

副議長の職としての任務の重大さに身が引き締まります。

吉田町議会が、町民福祉向上のため最良の判断を下す組織となることが求められていることを念頭に置き、議会改革を更に推し進めていく所存です。

議会運営について「ダイバーシティの視点を持った議会」、「コンフリクトマネジメント」の2つを実行したいと考えております。「ダイバーシティの視点」とは、多様な視点、価値観で物事を判断し社会貢献に生かす、ということとです。

議員は町民の皆様への多様な視点、価値観をいただき代表して議論することが求められていると考えます。議員各自の意見を提供し議論をし、最良の結論を導き出すことを議会運営の肝と位置づけたいと思っております。

次に「コンフリクトマネジメント」についてです。

コンフリクトとは、「意見や利害の衝突、葛藤、対立」といった概念を意味する言葉です。ネガティブに評価されがちな状況を、組織の活性化や成長の機会と捉え、積極的に受け入れて問題解決を図ろうとする考え方を「コンフリクトマネジメント」と呼びます。議会は言論の府と言われますので、意見の衝突、対立を議論とし、お互いの論点を評価し、新たな方向性を見出すことで問題解決を図り合意、決定していくことが大事であると考えます。

二元代表制の一翼である議会が活力を持ち、町民福祉の向上に資する議会改革と議会運営を行うという使命達成に向けて努めてまいります。

今後とも、皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第三回臨時会で審議した概要は、
次のとおりです。

- 吉田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
低所得者のために軽減した。
- 吉田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
災害補償の額の変更。
- 吉田町税条例の一部を改正する条例
- 吉田町都市計画税条例の一部を改正する条例
- 町道の路線廃止および路線認定について
 路線番号 2007
 路線名 高島7号線
 起点 川尻字代官島3696番
 終点 川尻字代町下 118番

吉田町議会役職一覧表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議席番号
山口 一博	三輪 美由紀	遠藤 孝子	蒔田 昌代	大石 巖	山内 均	三輪 正邦	杉本 幸正	八木 栄	大塚 邦子	河原崎 昇司	増田 剛士	藤田 和寿	平成29年6月1日現在
												○	議長
												○	副議長
○	○	○			正	副					○	○	総務文教常任委員会
			副	正			○	○	○	○	○		産業建設常任委員会
		副		○	○	○			正		○		議会運営委員会
副	正		○	○		○				○			議会広報特別委員会
		○			副		正	○	○		○		議会ICT推進特別委員会
		○											監査委員
○		○			○		○	○	○		○		広域施設組合議会議員
	○			○								○	榛原総合病院組合議会
						○				○			相寿園管理組合議会
			○										駿遠学園管理組合議会
					○							○	民生委員推薦会
												○	吉田町表彰審査委員会
				○								○	吉田町観光協会顧問
												○	吉田町都市計画審議会
												○	御前崎奥大井連絡道路 整備促進期成同盟会
				○								○	御前崎奥大井連絡道路 整備促進期成同盟会
				○								○	富士山静岡空港アクセス道路等 建設促進期成同盟会
												○	御前崎港整備促進 期成同盟会
				○								○	坂口谷川水門建設促進 期成同盟会

ご意見を議会にいかします

議会基本条例に基づき、5月17日から20日まで町内4会場で議会報告会を開催しました。

町民105人の皆さんに参加いただき、議案審議と議会目標について報告し、4グループに分かれてテーブルを囲み、意見交換を行いました。

なお、今回は、自治会役員の皆さんと組長の皆さんに参加依頼いたしました。ご協力ありがとうございました。

補正予算・当初予算について

問 ふるさと納税で返礼品は地場産品なのか。

答 全て町の特産品であるが、福岡県八女市の特産品も返礼品として扱っている。

問 ふるさと納税の返礼品手法は良かったのではないか。

答 税込UPにも繋がっていて、鰻が一番人気で地場産業の振興になっている。

問 ふるさと納税の金額が増えているが、これからの目標額はいくらか。

答 昨年度の実績を参考に7億円としている。

問 総合体育館の改修工事の内容は。

答 耐震補強改修工事に伴う、天井、床、サッシ、照明器具などである。空調は、トレーニングルームに新たに設置する。

問 安心・安全対策として、企業の財産を守り、かつ企業誘致をしている。具体的には高島地区の企業活動支援事業や浜田土地

答 安心・安全対策として、企業の財産を守り、かつ企業誘致をしている。具体的には高島地区の企業活動支援事業や浜田土地

問 税収確保策はあるのか。

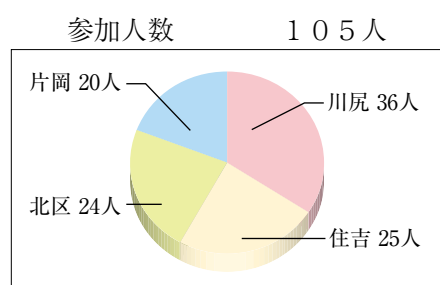
答 多目的ホールを改装して2教室増設する。

問 自彊小学校の教室、増設の状況はどうか。

答 吉田町外の認定こども園に入園している園児は55人である。

問 他市の認定こども園に何人入園しているのか。

区画整理事業などにより税収確保に取り組んでいる。



問 静岡市及び吉田町における連携中核都市圏形成に関し、具体的な内容を知りたい。停留所の改善が何に寄与していくのか。吉田町のためになる事業は何か、連携の目的は何か具体的に知りたい。

答 東名バス停留所の改善は、静岡市などに通勤・通学される町民のための利便性向上を図るもので、静岡市を中心とした広域的な連携事業の一環として整備するものである。今後、産業、文化などさまざまな分野での連携が行われる。



川尻会館

第14回議会報告会

町民の皆さんと懇談し

議会目標について

問 出前会議の仕組みがよくわからない。

答 2人以上の町民のグループ、団体から求められるテーマについて意見交換を申し込むことから始まり、議員が出かけて話し合う場である。

意見

意見 出前会議は町政の問題点などを議会側から投げかけてもらい、町民の意見を聞く形にすれば実行できるのではないかと。「町の○○事業の賛否を問う」というような形式。

問 ICT化、動画配信は怎么样了か。

答 当局と協議中である。

問 議会フェイスブックはどのくらいの人が見ているのか。

答 内容によってリーチ数は違うが、多いときは300人ほどである。

問 議会評価について、その後の改善点まで報告すべき。また、町民にも評価させるべきである。

答 課題として検討する。

意見交換について

川尻会館

問 幹線道路が開通して交通事故が増えた。吉田団地にカーブミラーを設置して欲しい。一時停止の表示も薄くなっているのでも補修して欲しい。

答 土木要望は、隣組から町内会長へ、そして自治会を経由して、町へ要望することになっている。

問 町長のシーガーデン構想の現実的な具体策を知りたい。(漁協、商工会などの連携は)

答 まだ、具体的なものは示されていない。吉田漁港東側の多目的広場を賑わい交流の場とする。

問 公共下水道の利用割合は。

答 公共下水道事業全体計画920haのうち266.45ha(約29%)が整備済である。整備済みのうち92.6%の世帯が利用している。

問 公共下水道工事、接続にあたり敷地内工費が高く、負担が厳しいのでやらない人が多いのでは。

答 町には公共下水道接続工事の工費を低金利で分割支払いできる融資斡旋制度があるので利用してほ

しい。

問 浜田地区の事業の進捗について心配になる。

答 28年度末で68%の進捗状況であり、31年度を目標として進めている。ホームセンターの出店が予定されている。

問 小中学校へのエアコン設置は、生徒や保護者から要望があつてのことか。

答 夏季に教室の気温が上がり、熱中症対策や授業に集中できるように学習環境の改善を求める要望があつた。

問 榛原総合病院の現状は改善されているのか。

答 改善されてきているが、医師の確保は厳しい状況である。



住吉会館

問 外国人のゴミの出し方が悪い。分別ができていないのでゴミステーションに残って迷惑だ。言葉が通じず、企業に言ってもよくならない。なんとかならないか。

答 町では、外国語の分別表を用意している。

意見 夏休みの減少について具体的な内容の説明がない。

意見 旧県道、焼津・榛原線と東名川尻線の交差点の信号機が、これまで東西方向の青色時間が長かったが、町道に格下げされたためか、南北方向青色時間が長くなったので、交差点の渋滞が緩和されて良かった。

意見 吉田町創業支援センター設置について地元への説明がほしい。戸締り、電気の管理をしっかりお願いしたい。



坂口谷川水門の工事現場

住吉会館

問 坂口谷川の水門は、どうなっているのか。

答 水門整備のため28年度は工事車両搬入路整備を行い、29年度は、坂口谷川の掘削工事を施工している。34年度完成を目指している。

問 防潮堤のかさ上げの完成はいつか。
答 川尻海岸はできるだけ早く完成させると聞いている。

川尻の本田

意見 線は道路の穴ぼこが非常に多くて困る。自転車が転倒しそうになったり、水たまりができ車の水はねで汚れる。要望を出してあると思うが、受け入れてくれない。何とかならないか。

意見 免許証返納で、高齢者の足がない。バスが走っていない。年金でタクシーは利用できない。ボランティアやタクシー会社と提携して実施している市町もあるがどうか。

意見 予算の優先順位、進行状況がわからない。例えば、公設学習塾はベネッセコーポレーションが関わっているが、当初の目的が達成されているか。まとめや反省、見直しがされていないのではないか。

北区自彊館

問 住吉小と自彊小のトイレを洋式にして欲しい。臭うので授業に集中できない。

答 両小学校ともに同じようなご意見を頂いている。学校教員でも把握しており、トイレ環境の改善に向けた検討をしている。

問 小中学校のエアコン設置工事では、町内業者が請け負えない。なるべく請け負えるようにしたほうが良いと思うがどうか。



北区自彊館

答 制限付き一般競争入札で行っている。技術力や資金力など点数制になっている。執行部側の考えである。

問 給食費の未納について、金額や理由はどうか。

答 27年度は約40万円。主な理由は生活困窮と聞いている。

意見 防災公園オアシスへの進入が地元の皆さんに不便である。中の道の整備をお願いしたい。

意見 町内にドッグランの設置はできないか。

意見 町内に高齢者が増えていくうえで、町内巡回バスが必要だと思う。あれば外へ出ていくのに利用したい。

意見 榛原病院に人科がほしい。

意見 三人兄弟の三人目の子であっても、三人一度に入園していないと割引にならない。三人目がずっと無料なら良いのに。

意見 議会中継の実施し、各議員の発言内容を知りたい。そうすることでそれぞれの議員の考え方がわかり、選挙の時に参考になる。

片岡会館



説明風景



片岡会館

問 焼津で子ども食堂ができたが、吉田町の子どもでも必要とする子どもは。

答 吉田町においてそのような子どもを把握していない。

問 同報無線の間こえが悪いところがあるが。

答 28年に調査が終了。29年からデジタル化に合わせて改善される見込みである。

意見 診療所が高齢者で混んでいて、医療費が心配になる。

意見 議会報告会内容を増やす方法を。

意見 TCPトリビュンプランは具体的な目標と結果を明確にすると費用対効果がわかりやすいと思う。

意見 学校にいろいろな社を辞めた人たちの受け皿を作ってほしい。

意見 街路樹の管理が回らない。手薄になっている。

意見 議会報告会内容を増やす方法を。

意見 議会報告会内容を増やす方法を。

第14回議会報告会でいただいた質疑、ご意見やご要望の内容を報告書にまとめました。詳しくは報告書をご覧ください。また、町ホームページや吉田町議会フェイスブックにもアップしてありますので、ご利用ください。

平成29年度の議会目標を決定！

目標達成のため努力していきます

目標	取組内容
会議の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員活動で得た情報や問題点を共有化し、課題の解決に向け議論する。 ・ 委員会活動の充実を図る。 ・ 議案審議方法を検証し、より良い審議方法を検討する。
情報の発信を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会中継に向け取り組む。 ・ 議会フェイスブックの充実を図る。
議員の責務を果たす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員研修を行い、議会活動に反映させる。 ・ 吉田町議会基本条例を遵守する。
住民意見を反映する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前会議の周知と開催に向けた支援を行う。

吉田町議会基本条例に基づき、議会改革推進のため議会目標を決めています。
※29年度末に達成度を評価して、公表します。

さらなる安心 安全を 総合体育館耐震補強改修工事

工事名	平成29年度吉田町総合体育館耐震補強改修工事
入札方法	制限付き一般競争入札
契約金額	493,560,000円
契約相手方	島田市向島町4532番地 大河原建設株式会社

6月1日から15日までの会期で開催され、条例の一部改正2件、工事請負契約の締結2件、委員任命にかかる同意案件1件、人事案件14件を審議し、可決・同意した。また、議員発議として議会の会議規則の一部改正や精神障害者の交通運賃割引に関する意見書を可決した。

工事概要

耐震補強	1階 鉄筋コンクリート補強壁設置16カ所 2階 鉄筋コンクリート補強壁設置2カ所 鉄骨補強ブレース設置6カ所 鉄骨補強ブレース設置10カ所
天井耐震	つり天井から膜天井への改修
アリーナ床	フローリングから長尺弾性シートへの張替え
その他	・窓ガラス工事 ・塗装工事外壁塗装 ・電気設備工事LED化 ・トイレバリアフリー化 ・空調換気設備トレーニングルーム

工事契約の締結

平成29年度吉田町総合体育館耐震補強改修工事

【全会一致で可決】

平成29年度吉田漁港多目的広場盛土工事

【全会一致で可決】

吉田町総合体育館



トレーニングルームへ空調設備



トイレをバリアフリー化



にぎわいを生むまちづくり 吉田漁港多目的広場盛土工事

工事名	平成29年度吉田漁港多目的広場盛土工事
入札方式	制限付き一般競争入札
契約金額	165,240,000円
契約相手方	焼津市栄町5丁目9番3号 株式会社橋本組
施工延長	198.16m
施工面積	18,780㎡



吉田漁港多目的広場

条例の一部改正

特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例

【全会一致で可決】

問

JETプログラムムから派遣されるALTは月額33万円以内に、その他民間からの二人は年間480万円、同じような仕事をするのにこの差は。

答

JETプログラムムから派遣される方には町の条例により支払われる。民間の方々は委託業者に支払う額であるので制度的に比べるには困難である。

JETプログラムとは語学指導などを行い、外国青年招致事業である。外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業である。

人事案件

ALTとは小中高校などの英語の授業で日本人教師を補助し最長3年契約である

吉田町職員の育児休業等に関する条例及び吉田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

【全会一致で可決】

委員任命に係る同意案件

吉田町農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求めることについて

【全会一致で同意】

問

農業委員会の委員の制度が公選制から任命制に変わり認定農業者が少ないためこれに準ずる者で補うことが必要と思うが、課題は。

答

今後農業委員の研修を行っていきたいと考えている。

吉田町農業委員会の委員の同意

【全会一致で同意】

- 神戸 3101番地の1 大石 節夫 氏
- 川尻 3043番地31 田島 豊 氏
- 大幡 1747番地 曾根 久夫 氏
- 住吉 2113番地 村田 宇一 氏
- 神戸 2465番地 大石 春美 氏
- 住吉 54番地 柳原 豊 氏
- 川尻 3614番地の1 大石 高行 氏
- 住吉 2554番地 増田ちづ子 氏
- 住吉 3105番地 三輪 弘 氏
- 片岡 560番地 高橋 勝雄 氏
- 片岡 2390番地の1 田村 宏巳 氏
- 神戸 4197番地 神戸 4197番地 萬年 敏明 氏
- 神戸 952番地 石間美弥子 氏

片岡3394番地1

吉永 貢 氏

発議案

吉田町議会会議規則の一部を改正

【全会一致で可決】

精神障害者の交通運賃割引に関する意見書

【全会一致で可決】

精神障害者に身体障害者及び知的障害者とともに交通運賃割引が適用されるよう、是正指導勧告等の措置を行う事を強く要望します。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。





問 自転車専用レーンの整備は

答 整備の必要性は、十分に認識している

「身近な生活交通手段の環境整備について」と題し、町内の移動手段に関わる環境の現状と今後の整備を質問した。

問 身近な交通手段である自転車の専用レーンの整備に関し町の見解は。

答 新たな幹線道路において、歩行者の安全を最優先に考慮した歩道を設置してきたが、自転車専用レーンの整備の必要性は、十分認識している。

歩行者、自転車、自動車の安全かつ安心な通行ができる道路環境整備に取り組んでいく。

問 庁舎南の駐輪場は飽和状態ではないか。

答 例年4月に新たな通勤通学などによるバス利用者が駐輪するため、一時的に飽和状態となる。

中央公民館北側の駐

輪場に誘導し、解消している。

問 駐輪場の強風による自転車転倒対策は。

答 強風による転倒は認識している。今後、風除け対策を検討していく。

問 グリーンベルトの設置状況と要件は。

答 自転車の交通量と歩行者の交通量を考慮して設置している。

通学路における点検結果や地元提出の要望書を踏まえ、順次、設置している。

問 高齢者のシニアカー利用の安全対策は。

答 高齢者の移動手段として、シニアカー、歩行アシスト用電動車椅子の利用、需要の高まりは予測できる。

第10次吉田町交通安全計画で高齢者などの視点に立って、平坦性が確保された歩道やバリアフリー化の歩道整備を行うことを盛り込んでいる。

問 高齢者の運転免許証の返納後の移動手段の確保について町の対策は。

答 免許証返納者に限らず、町民ニーズは多様なものがある。多角的に方策を検討し、柔軟な発想のもとで検討していく。

今後、高齢者が安全かつ安心して道路を利用できる交通安全対策を図る必要がある。



庁舎南の駐輪場 強風により転倒する自転車



町政を問う

大石 巖 議員

問 豊かな自然と共生するまちづくりについて

答 人と生物の調和を図っていく

近年、フナやハヤなどの川魚、川や田で餌をついばむサギの姿が減ったように感じます。

また、吉田町へ来町された方の印象として緑が少ないとの話を聞きました。

町民憲章では、「水と緑に恵まれた自然を愛し、住みよいまちをつくりましょう」と謳っています。

自然を大切にする住民意識の向上と行政の取り組みが一体となった暮らしやすいまちづくりに努力する必要があります。

問 魚類・鳥類など、従来から生息していた生物が減少していると思うが自然環境の現状をどう見るか。

答 水質、大気の調査を実施しているが、ここ数年間において著しい環境変化は見られない。継続的に調査し環境状況の把握に努めていく。



アユの遡上

問 緑豊かな自然と共生する環境づくりの具体策は。

答 水質汚濁防止のため下水道や合併浄化槽の普及促進。

地球温暖化防止に向けた自然エネルギーの利用推進のため町内7箇所の施設にLED化などの実施。

「吉田町緑のオアシス条例」に基づく事業として、公共用地の緑化や事業場敷地の緑化、みどりの祭典の実施や苗木などの配布に取り組んでいる。また、保安林の維持管理も重要と考える。町民が健康で快適な生活を送る環境づくりが大切で、人と生物の調和を図り、「豊かな自然と共生するまちづくり」の実現に努める。

問 魚類などが減少している原因は。

答 調査していないので減少しているか明確でない。

問 ホタルの生育など自然と生物の触れ合いを。

答 自然重視の治水対策で調和できる環境を進めたい。

問 サギ営巣地（コロニー）の調査や海岸防潮堤建設での影響は。

答 調査していないが工事による影響はない。

問 記念植樹運動（出産・結婚の記念など町民が苗木を買って公共地に植樹）は有効な方法と考えるか。

答 新築家庭への苗木配布などをしていく。

問 東名川尻幹線緑化の取り組みは。

答 植樹帯は町が管理している。緑化を推進していく。

問 釣りを楽しんだりホタルが飛び交う川など、豊かな自然を発信できたら吉田町の大きな魅力になると思うが。

答 環境づくりには上流の影響もあり、他市町の状況、連携をふまえてやりたい。



田んぼに居ついたサギ



町政を問う

遠藤孝子議員

問 わが町の健康づくりの推進について

答 主体的な健康づくり及び食育を支援する



体組成計で計測中

問 地区健康度アップ事業の成果と課題は。また、今年度の事業内容と目標は。

答 地区健康度アップ事業は、保健師、栄養士が町内会に出向き、健康課題を共有することにより、個人の健康保持増進、家庭や地域の課題として認識され、健康づくりが地域ぐるみで実践されることを目指している。昨年は五町内会を対象に高血圧予防を中心に92人の参加があった。参加者の四割が男性であったことから、町内会に出向くことで、性

別を問わず個人の健康や町の健康課題への関心を高めることができ、地域への啓発につながる効果もあった。今後の課題は、町の健康課題が参加者自身の健康状態と関連づけて考えることができる取組が必要であることと、参加しやすい場所の設定、周知方法も検討することである。

今年度は、五町内会を実施し、高血圧予防を中心に、特定健診の結果や体組成計の結果を取り入れ、客観的に自身の健康状態を捉える場とする。

問 小・中学校での健康に関する教育の内容と目指すところは。

答 文部科学省の学習指導要領に基づき小中学校では、定期健康診断、歯科保健指導、食中毒予防や心の健康指導を実施している。中学校では喫煙・飲酒・薬物乱用を取り上げ、健康に及ぼす害について指導している。食育の観点からは、給食の献立を通して、食品の産地や栄養的な特徴などを学習する。目標を、住吉小は「元気な体、しなやかな心」、中央小は、「自分の命を大切にし、心身ともに鍛えようとする力」、自彊小は「自他の心身の健康に関心をもち、健全な生活ができる子」吉田中は、「自分を磨き、より健康な心と体を育む」としている。

問 健康教室講座における食育のねらいと年齢期からの関連は。

答 健康教室講座においては、成人を対象に、生活習慣発症・重症化予防や改善に向けて、栄養バランスに配慮した食生活を実践できることを目指す。学齢期においては、「食に関する指導の全体計画」を作成し給食の時間や家庭科などの各教科、総合的な学習の時間など、学校教育活動全体を通して食育を推進していく。





町政を問う

山内 均 議員

問

大井川高島グラウンド 西のトイレの水洗化は

答

女性が利用しやすいトイレの 設置を検討する

答 グラウンドゴルフやソフトボール大会などで女性の利用が増加している現状を踏まえ、女性も利用しやすいトイレの設置を検討する。現状ではすべてを満たしているとは思っていない。

問 サッカー、野球、グラウンドゴルフなど、恒常的に利用されており、女性の参加は特に多い。表に示す通り、町主催などの多くの大会があるが、近年参加者が減少してきている。トイレの問題もあると聞く、堤防西のトイレの水洗化は。

大井川高島グラウンドについて

大井川高島グラウンド利用状況 (グラウンドゴルフ) 人				
名称	23年度	26年度	27年度	28年度
協会の大会	1,197	720	681	621
近隣交流会	500	404	374	326
スポーツ祭	219	198	195	196
町長杯	241	212	200	194
合計	2,157	1,534	1,450	1,337

問 もっと多くの利用施設として開発する計画は。

答 町はスポーツ広場や、体育施設など、既存施設の計画的な改修を進め、町全体のスポーツ人口の底辺拡大に努めていく。計画はなし。



大井川高島グラウンド西側トイレ

問 コミュニティ広場や農村広場などのうち、北区船山農村広場だけが汲取りトイレである。健康的な利用には水洗化は必須であると思う町の考えは。

答 より良い快適な利用を図るのに、改善の必要があれば図り、時期についても検討していく。

公共広場について

問 公園内にトイレ増設の検討は。

答 トイレの増設は、現在の状態においては考えていない。本年度は、郷土資料館トイレの改修を計画している。

展望台小山城公園について

名称	衛生設備種類
神戸コミュニティ広場	水洗
中央コミュニティ広場	水洗
住吉コミュニティ広場	水洗
川尻コミュニティ広場	水洗
西久保農村広場 (住吉)	水洗
船山農村広場 (神戸)	汲取り

議会運営委員会

委員定数は6人とします。
 ○議会の運営に関する事項
 ○議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
 ○議長の諮問に関する事項について調査を行い、議案、請願等の審査を行います。



委員長 大塚邦子
 副委員長 遠藤孝子
 委員 大石 巖
 山内 均
 三輪正邦
 増田剛士

総務文教常任委員会

委員定数を7人とし、総務課・防災課・企画課・税務課・町民課・福祉課・こども未来課・健康づくり課・会計課・教育委員会・選挙管理委員会・監査委員及び固定資産評価委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属さない事項を所管します。
 所管事務調査は「地域包括ケアシステムについて」を行います。



委員長 山内 均
 副委員長 三輪正邦
 委員 山口一博
 三輪美由紀
 遠藤孝子
 増田剛士
 藤田和寿

産業建設常任委員会

委員定数を7人とし、産業課・建設課・都市環境課・上下水道課及び農業委員会の所管に属する事項を所管します。
 所管事務調査は「道路、河川及び都市公園の管理及び整備について」を行います。



委員長 大石 巖
 副委員長 蒔田昌代
 委員 杉本幸正
 八木 栄
 大塚邦子
 河原崎昇司
 増田剛士

新しい構成(メンバー)で出発します

議会運営委員、総務文教常任委員、産業建設常任委員の改選がありましたので、委員会の役割と構成メンバーについて紹介します。



近藤直久 会長

町のボランティア団体紹介

子どもを育む住吉わっぱくらぶ

地域ボランティア15人、PTA父兄、
自治会の協力のもと行っている。平成21年結成

目的

- 遊び、物作り伝統行事などを通して住吉区の子どもたちを育む。
- 体験を通して大人から子ども、子どもから次世代の子どもに伝統や文化を継承する。
- 子ども、親同士、近所同士、地域の人々のふれあいの場とする。

今年度から会長を引き受けました。「住吉わっぱくらぶ」に関わってきましたが、何よりも子どもたちがわっぱくらぶを忘れないで、会うと大きな声で挨拶をしてくれる事が嬉しいです。通学合宿では話が苦手な子どもが、初めて会った人と会話が出来るようになったなど、子どもたちの成長が見られ良い事だと思いました。人とのつながり、子どもたちとのふれあいがボランティア活動の魅力です。若い世代の方にも協力を頂き、一生懸命やっていきたいと思います。

会長 近藤直久

ジャガイモ掘りは楽しいよ



1年間の行事

- 5月11日～13日 住吉わっぱ宿
- 5月28日 ジャガイモ収穫
- 6月18日 海岸清掃、さつま芋ツルさし
- 7月15日 カブトムシ、クワガタ教室1年～3年
- 10月22日(予定) ハッピーハロウィン
- 11月5日(予定) さつま芋収穫
- 12月24日(予定) ミニ門松づくり
- 焼き芋大会

通学合宿わっぱ宿 47人参加

カレー作りは楽しいよ。ジャガイモ、人参、玉ねぎ、わっぱファームでとれました。みんなで作ったカレーは美味しかった。



ハッピーハロウィン 昨年116人参加

帽子やマント、つのがカチューシャや手作りの仮装で、住吉を歩きます。ボランティア、保護者の参加をぜひお願いします。



議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。
こちらからどうぞ
<https://www.facebook.com/yoshidachougikaict>



(QRコード)

動画や写真のスライドショーなど、
議会活動の様子をご覧いただき、ご意見をお寄せください。

議会ICT推進特別委員会

議会のICT化を推進し、開かれた議会の実現をめざすことを目的とし、ICTツールを利用した議会運営の効率化、議会会議の中継を通じて、情報発信と市民の皆さんからの意見聴取を図ります。

議会中継導入には、当局の協力が必須なため、議長から町長に協議を申し入れています。

今後の活動

- ・フェイスブックを活用し、議会活動や委員会の審議状況などを発信します。
- ・町民からの要望、必要性についての調査。

「必要な人に必要な情報の提供ができていくか」の観点で検証を行います。



議会ICT推進特別委員会

議会広報特別委員会

定例会（本会議）が1年間で4回開かれます。定例会が終了すると早急に広報委員を召集し、広報に載せる記事を各担当委員が準備します。本会議の質疑、答弁は、録音を聴きながら、どの様な説明をしたか記事にします。

予算、決算、議案など、重要な施策を取り上げ、質疑など報告をしてきました。一般質問においては、各質問者が記事を書いていきます。気軽に手に取って頂ける様な議会だよりを目指し、読みやすい内容にしていきます。



議会広報特別委員会

あとかぎ

厳しい暑さが続きます。暑さをしのぐため、よしずやグリーンカーテンの家もあります。暑い中、高校野球の熱戦が報いられています。いつ見てもドラマがあり、どの高校が優勝してもおかしくない実力を持っている高校ばかりで一挙手一投足に感動します。

さて23日は花火大会です。吉田の花火は短時間に集中して上がります。ぜひ友達を誘って見に来て下さい。今年の花火も楽しみにしています。

(M・M)

議会広報特別委員会
委員長 三輪美由紀
副委員長 山口一博
委員 蒔田昌代

大石 巖
三輪 正邦
河原崎 昇司